

第三回目の協調学習アクションリサーチプロジェクト半日体験ワークショップへようこそ。

今日のテーマは、

- 人が仲間と学び合う協調的な学習活動の利点、活用の仕方を、
- 人の認知活動の原理原則に立ち戻って

考え直してみることです。

活動スケジュールは次のとおりです。

- (1) 最初に「協調的な学習活動の利点、活用の仕方」についてグループで話し合います。
- (2) 次に『高校生でもわかる認知科学』教材を使って、形(Figure)、計算(Calculation)、読み(Reading)の三つの分野ごとに用意された簡単な課題をやってみて、そこから「人の認知活動の原理原則」をまとめます。
- (3) 最後にもう一度話し合って「人が仲間と学び合う協調的な学習活動の利点、活用の仕方」を標語(スローガン)にまとめてポスター・セッションをやりま

す。ジグソー活動がどんなものかについては初めに簡単に説明します。

<一段階目のジグソー活動>

『高校生でもわかる認知科学』には三つの分野に4つずつ課題があります。そこで、

- 一課題を2, 3人ずつで担当して
- 各課題から一人ずつ分野ごとに集まってわかったことを交換し
- 「形」、「計算」、「読み」分野ごとに「人の認知活動の原理原則」をまとめます。

<二段階目のジグソー活動>

「形」、「計算」、「読み」それぞれの分野から一人ずつ3人集まってグループを作り、「人の認知活動の原理原則に立ち戻」った上でもう一度「人が仲間と学び合う協調的な学習活動の利点、活用の仕方」をまとめます。具体的には

- 分野で分かったことを交換して、
- 全部の知見を統合して「人の認知活動の原理原則に立ち戻」り
- 「人が仲間と学び合う協調的な学習活動の利点、活用の仕方」をまとめます。

<今日のプロジェクト活動>

2回のジグソー活動を通して見えてきたことを他の人にわかりやすく伝えるために、話し合いや協調活動を授業や職場で活用したくなるような

☆☆☆ 協調活用スローガン ☆☆☆

を作ってください。今日の最後には、このスローガンのポスター・セッションをやりま